



はじめに

「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組みです。このシステムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保することを目的としています。

（一財）建設業振興基金は、「建設キャリアアップシステム」の運営主体です。

これから、建設技能者の皆様、建設業者の皆様、建設業団体の皆様を始め関係者の皆様に、このシステムに関するトピックを、「建設キャリアアップシステム通信」としてお届けいたします。

システムの運用開始時期の見直しについて

- 8月10日（金）に開催しました「建設キャリアアップシステム運営協議会第4回総会」において、本システムの現場での運用（現場・契約情報登録、施工体制登録、就業履歴蓄積）の開始に関するスケジュールの見直しが決まりました。
具体的には、2019年の年明け以降、システムを利用できる現場を限った「限定運用」を開始し、限定運用で蓄積した知見を踏まえ、2019年度より「本運用」を開始いたします。
- 今般の見直しは、建設キャリアアップシステムの設計・開発が当初想定よりも長期の時間を要していること、また、現場での運用開始後、混乱が生ずることなく、安心してご利用いただける環境を整えることが重要であることから行わせていただいたものです。
- これまで、いち早く技能者登録、事業者登録の申請をしていただいた皆様には、ID・カード発行をお待たせしていますこと、また、本年秋の運用開始を想定して準備を進めてこられた皆様にも多大なご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。
- 建設キャリアアップシステムの運営主体として、全力を挙げてシステムの発展に向けて取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

平成30 ～31年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
システム	システム開発（就業履歴情報等に関するシステム開発）															
技能者情報 （登録）								7月下旬以降：カード交付開始		技能者情報の登録 変更申請の受付・登録						
事業者情報 （登録）								事業者情報の登録 変更申請の受付・登録								
現場運用 現場契約情報登録 施工体制登録 就業履歴蓄積								準備・調整			限定運用※			本運用		

※限定運用・・・システムを利用できる現場を限定した上で、規模や工種など多様な現場で実施することにより、システムの安心かつ円滑な利用のための検証を行うもの。なお、限定運用を行う現場については、関係団体や事業者と調整して選定。





建設キャリアアップシステム専用HPについて

- 当財団のHP内に、建設キャリアアップシステムの専用HPを開設しており、システムの概要、利用方法、Q & Aなどを掲載しています。有益な情報が満載ですので、是非、ご覧ください。
- 技能者情報登録や事業者情報登録のインターネット申請、登録していただいて技能者ID又は事業者IDを取得後にログインしていただいた際の閲覧、変更等の運用も、専用HPを通じて実施していただきます。

HPの掲載情報について

- 1 建設キャリアアップシステムへの登録のインターネット申請
技能者情報及び事業者情報の登録をインターネット申請される場合は、本HPから申請が可能です。
- 2 紙媒体（郵送申請、窓口申請）及びインターネット申請にあたっての「ガイダンス動画」を掲載しています。
動画の種類は、以下の3種類で、それぞれ技能者編と事業者編があります。
 - 手順の概要編（5月28日掲載）
 - インターネット申請編（6月13日掲載）
 - インターネット代行申請編（8月1日掲載）
- 3 各種資料のお取り寄せやダウンロードができます。
 - 新規登録申請書お取り寄せフォーム（無料）
申請書のみならず申請書の手引や概要説明資料等がセットになった技能者情報新規登録申請書一式、事業者情報新規登録申請書一式のお取り寄せ
 - ダウンロード
・各情報登録申請書の手引き・コード表
・チラシ、パンフレット類 等
- 4 その他掲載情報
 - 受付窓口連絡先リスト
窓口申請をされる場合は、本リストをご覧ください、お近くの窓口にて申請してください。
 - Q & A
本システムに関する主な質問について項目毎に掲載しております。
内容については、定期的に更新していく予定です。

【建設キャリアアップシステムのHP（トップ画面）】



建設キャリアアップシステム
Construction CareerUp System

お問い合わせセンター
03-6386-3725
受付時間：平日 9時～17時
Email: otoiawase@mail.ccus.jp

HOME	概要/スケジュール	運営協議会/総会資料	ご登録手続き/ご利用方法
建設キャリアアップシステムログイン	ガイダンス動画	インフォメーション	Q & A



建設業と技能者を支える
新しいシステムが動き出します
「建設キャリアアップシステム」のご案内

[建設キャリアアップシステム 申請書のお取り寄せはこちら](#)

>> 申請受付中

[建設キャリアアップシステム インターネットによるお申込みはこちら](#)

>> 申請受付中



「受付窓口」と「認定登録機関」が順次開設されています。

- 建設キャリアアップシステムへの技能者情報及び事業者情報の登録申請にあたり、インターネット申請と郵送申請の他に、窓口における申請受付ができます。
 - ・「受付窓口」においては、技能者情報登録申請書、事業者情報登録申請書を受け付けております。
 - ・「認定登録機関」においては、申請書の受付だけでなく、本システムへの情報登録を同時に行っております。
- 「受付窓口」と「認定登録機関」は、建設キャリアアップシステムの全国での普及のため、各地域にて順次開設していく予定であり、以下の建設業関連団体にご協力をお願いしております。開設準備や運営を担われている皆様に、心より感謝申し上げます。
 - ・各都道府県建設業協会・・・受付窓口
 - ・全国建設労働組合総連合・・・受付窓口、認定登録機関

1 各都道府県建設業協会の受付窓口について

- 各都道府県建設業協会の事務所において、「受付窓口」を開設しており、10月1日現在の開設状況は、以下の合計37箇所になります。

【受付窓口開設状況】

- ・6月開設(1箇所)：(一社)東京建設業協会と本財団の共同運営(6月15日)。
- ・7月開設(14箇所)：北海道、青森、宮城、群馬、静岡、愛知、三重、石川、大阪、奈良、徳島、高知、福岡、鹿児島
- ・8月開設(16箇所)：秋田、福島、栃木、長野、岐阜、富山、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、山口、長崎、熊本、大分、沖縄
- ・9月開設(4箇所)：岩手、福井、岡山、宮崎
- ・10月1日開設：埼玉、広島

2 全建総連の受付窓口・認定登録機関について

- 全国建設労働組合総連合の支部において、「受付窓口」又は受付・登録を行う「認定登録機関」を順次開設していきます。

【認定登録機関開設状況】

- ・10月1日開設 首都圏建設産業ユニオン本部において、**第1号の「認定登録機関」**が開設されました。

3 受付窓口・認定登録機関の情報について

- 具体的な住所・電話番号、受付時間等の情報は、本財団のHPをご覧ください。
建設キャリアアップシステムHP：<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ccus/images/list/list.pdf>

なお、他の箇所でも、鋭意開設準備をし、上記HPに公開していきます。



<受付窓口の様子((一社)東京建設業協会と本財団の共同運営)>



システム開発等担当事業者と建設業振興基金で構成する運営委員会を開催

1 運営委員会の構成・目的について

○ 2018年10月10日、建設キャリアアップシステムの開発・運営を担当している事業者4社（※）のハイレベルの責任者と（一財）建設業振興基金建設キャリアアップシステム事業推進センター幹部が参加して、第1回運営委員会を開催しました。

- ※ 富士フィルムイメージングシステムズ（株）＜本体開発・運用＞
- 富士通（株）＜本体開発：オブザーバー＞
- （株）DNPデータテクノ（大日本印刷（株））＜申請受付・審査、カード発行、お問い合わせセンター運営＞
- フェンリル（株）＜就業履歴情報登録アプリ開発＞

○ 8月10日の運営協議会総会において、年明け以降からの「限定運用」開始、2019年度からの「本運用」開始が決定されましたが、このスケジュールの厳守に向けて、共通目標「年明けから就業履歴の蓄積ができるシステム環境の実現」を確認することを目的としています。今後1箇月に1回程度、継続して開催することとしています。

2 第1回運営委員会（10月10日）の内容について

○ 第1回運営委員会では、年明けからのサービス開始を前提に、利用者が安心してサービスが利用できるようにすること、運営主体である基金が安心してサービスを提供することができるようにすることを主な狙いとして、「システム開発体制の強化策（開発会社の組織の明確化と強化、工程管理等で開発会社への監督の強化など）」及び「システムと運用体制の強化策（信頼されるクラウドサービスとしての情報基盤の品質向上、迅速な障害対応など）」への支援を要請しました。

○ 参加した事業者からは、システムの強化策を受けて、直ちに強化対策本部を本社に設置したい、社内及び基金・4社でのネットワークを強化したい、セキュリティ対策に関する集中協議が重要などの発言がありました。

＜第1回運営委員会の様子＞

＜システム開発・運用のスケジュール＞



平成30～31年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
システム	システム開発（就業履歴情報等に関するシステム開発）															
技能者情報（登録）											I：システム開発体制の強化策					
事業者情報（登録）											II：システムと運用体制の強化策					
現場運用 現場契約情報登録 施工体制登録 就業履歴蓄積											準備・調整 → 限定運用 → 本運用					
活用・普及	説明会の開催、セミナーの開催										利活用の周知・普及					
	チラシ・パンフレット・ポスターの作成															

既に登録された情報の変更が、HPでできるようになりました。

- 本財団HPで、事業者登録情報及び技能者登録情報の内容を変更する「変更申請」が可能となりました。
- 登録された情報を変更したい場合は、事業者IDまたは技能者IDでログインし、TOP画面のメニュー欄より「変更申請」を選択することにより編集可能となります。

詳しくは、本財団HPをご覧ください。 http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ccus/staff/topics_file/46.pdf



建設キャリアアップシステムで使用可能なカードリーダーを情報公開しています。

1 カードリーダーの情報は専用HPをご覧ください。

- 建設キャリアアップシステムで使用可能なカードリーダーについて、随時、当財団HP内の標準API連携認定審査受付サイトで情報公開しています。
- 現在、4つの機種について、対応OS、メーカー、対応時期の予定等を公開しています。今後とも、順次、新たな機種の追加とともに、詳細情報を紹介していく予定です。 <https://www.auth.ccus.jp/CR/>

<対応カードリーダー情報>（順次追加予定）

- (1) Dragon_CC（対応OS：Windows）
 (株)サーランド・アイエヌイー製
 オープン価格（約11,000円（税別））
 外形寸法：タテ95mm×ヨコ62mm×厚み13mm
 ※2018年12月対応予定
- (2) BNR01NF（対応OS：iOS/Windows）
 トップラン・フォームズ(株)製
 オープン価格（約30,000円（税別））
 外形寸法：タテ96mm×ヨコ64mm×厚み14mm
 ※2019年1月対応予定
- (3) UNR01UF（対応OS：Windows）
 トップラン・フォームズ(株)製
 ※2019年春以降（時期未定）
- (4) Dragon_BLE（対応OS：iOS/Windows）
 (株)サーランド・アイエヌイー製
 ※2019年春以降（時期未定）



2 カードリーダーの使い方等について

- カードリーダーは、元請事業者の皆様にも、現場開設の際、ご用意いただきます（現場での本運用は、2019年度からです。）。
- 現在本財団において開発中の就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールしたパソコン、iPad/iPhoneにカードリーダーを接続していただき、技能者が建設キャリアアップカードをかざして、就業履歴を蓄積していきます。
- カードリーダーには、現場の規模や期間、新規・リフォームなど現場の状況に応じて、現場据置型、携帯・簡易型など適切に対応できるものがありますし、必要な場合には新たな開発も行われます。例えば、小規模リフォームの現場で、現場監督の方が複数の箇所を巡回する場合、一つのカードリーダーを持参して個々の現場情報を切り替えることにより、複数の現場で共有することも可能です。

パソコンに
有線で接続
のもの ⇒



iPhoneに
無線で接続
のもの ⇒



年明けから始まる「限定運用」へ参加する元請事業者と運用現場が決定されました。

1 「限定運用」について

- 建設キャリアアップシステムについては、システムを安心かつ円滑に導入するため、来年度からの「本運用」に先立ち、来年1月から3月までシステムを利用できる現場を限った「限定運用」を実施することとしています。
- 「限定運用」は、建設現場が様々な条件下に置かれ、インターネット環境や入場技能者数の違いによって多様なパターンが想定されることから、それらパターンに的確に対応するとともに、現場でのトラブルに対し本財団（運営主体）が丁寧かつ迅速に利用者をサポートできるよう、トラブルを検証してフィードバックすることを目的としています。

2 「限定運用」への参加元請事業者への説明会について

- 11月15日（木）、「限定運用」に参加する元請事業者が初めて一堂に会し、限定運用に関し共通認識を得つつ、実施ノウハウ等を共有するための説明会が開催されました。

○ 説明会では、

- ・ 現場ごとでの協力会社への参加依頼とシステムへの事業者登録・技能者登録を急ぐべきこと、
- ・ 元請による現場・契約情報登録や元請・下請の連携による施工体制登録のノウハウを早急に確立すべきこと、
- ・ 技能者の就業履歴の適切な蓄積に向けてきめ細かな運用方法を明示すべきこと、
- ・ カードリーダーの調達を含め現場における準備を効率的に実施すべきこと、

などについて、参加者は「高い志」のもとで熱心な意見交換を行いました。

3 実施現場リストについて（右表）

- 参加元請事業者は19社で、内訳は、大手ゼネコン：14社、地域ゼネコン：2社、ハウスメーカー：1社、工務店：2社です。多様な事業者にご参加いただいています。

- 実施現場は24箇所、建築（住宅を含む）・土木、新築・改修、規模、立地地域などの面から、バリエーションを確保しています。

<説明会の様子>



	建築/土木	場所	現場名	元請事業者（JVの場合は代表会社）
1	建築	東京	(仮称) 麹町五丁目建設プロジェクト	大成建設株式会社
2	建築	東京	(仮称) 原宿駅前プロジェクト新築工事	株式会社竹中工務店
3	建築	東京	赤坂5丁目プロジェクト	鹿島建設株式会社
4	建築（住宅）	兵庫	阪神支店A邸・B邸 新築工事	大和ハウス工業株式会社
5	建築（改修）	東京	G地区改修工事事務所	株式会社竹中工務店
6	建築（住宅）	東京	*戸建住宅のリフォーム工事	*調整中
7	土木	茨城	常陸那珂廃棄物護岸築造工事	五洋建設株式会社
8	土木	東京	虎ノ門地下歩道その2工事	西松建設株式会社
9	建築	東京	八丁堀二丁目計画	戸田建設株式会社
10	建築	東京	T大学建替工事	株式会社大林組
11	建築	東京	某大学学生寮	株式会社フジタ
12	土木	神奈川	横環南戸塚IC改良（その1）工事	株式会社安藤・間
13	建築	東京	神田神保町3丁目ビル新築工事	前田建設工業株式会社
14	建築	長野	北信合同庁舎耐震改修工事	中野土建株式会社
15	土木	島根	大田静間道路静間川橋下部第3工事	株式会社中筋組
16	建築（住宅）	東京	*都内戸建住宅工務店	*調整中
17	建築	東京	六本木5丁目計画	清水建設株式会社
18	土木	調整中	*調整中	三井住友建設株式会社
19	建築	東京	(仮称) 港区芝浦二丁目計画 新築工事	株式会社長谷工コーポレーション
20	建築	東京	恵比寿西二丁目複合施設建築JV	東急建設株式会社
21	建築（改修）	東京	S地区改修工事事務所	鹿島建設株式会社
22	土木	東京	外環大泉南工事	大成建設株式会社
23	土木	東京	南北線中防接統部工事	鹿島建設株式会社
24	土木	東京	東京国際空港隣内トンネル他築造等工事	清水建設株式会社



技能者の皆様にお届けする「建設キャリアアップカード」をご紹介します。

1 「建設キャリアアップカード」について

○ 技能者の皆様が、システムに技能者情報を登録していただきますと、建設キャリアアップカードと技能者IDを発行させていただきます、簡易書留でお届けします。

※ 登録申請後大変長らくお待ちいただいている皆様に、心よりおわび申し上げます。どうか、あと少しの間お待ち願います。

2 「職人の誇りのつまったカード」です！

○ 建設キャリアアップカードの表面に印字されている数字は、技能者ID(14桁)と発行回数です。
技能者IDとパスワードでシステムにログインしていただきますと、ご自身の本人情報に加え、所属事業者、社会保険加入状況、職種、保有資格、研修等の受講履歴、表彰等の履歴などが閲覧でき、そして出力できます。そして、新たな資格を取得された時などにはその情報を追加していただきます。

○ 日々、現場で、カードをカードリーダーにあてることにより、いつ、どのような現場で、どういう立場で、どのような作業内容で働いたかという就業履歴情報を蓄積していただだけ、それを閲覧でき、そして出力できます。

3 カードは、現在の2種類から将来は4種類へ展開

○ 現在は、一般のカード(白)と、登録基幹技能者の方用のゴールドカードの2種類を発行しています。

○ これは当面の措置であり、現在、各専門工事業団体において、職種ごとでの技能者の能力評価制度をご検討いただいておりますが、それがまとまった職種から、レベル1(初級技能者)、レベル2(一人前の技能者)、レベル3(職長)、レベル4(高度なマネジメント能力を有する技能者)に対応して4種類のカードを発行していく予定です。

4 カードを取得された皆様の声

○ カードをお受け取りされた皆様に、システムにログインしてご自身の情報を閲覧された感想をお聞きしました。その一端をご紹介します。

- ・ 保有資格のリストを見て、頑張ってもっと資格を増やしたいと思いました。
- ・ 技能者ランクの欄に「白」と書いてありました。頑張って「ゴールド」になろう！と決意しました。
- ・ 2019年度から、現場でカードリーダーにタッチして、日々の就業履歴が蓄積されていくのが楽しみです。

<一般のカード(表面)>

<ゴールドカード(表面)>

<裏面>



(注)この画像は転載不可です。



本年1月15日から、システムを利用できる現場を限った「限定運用」を開始しました。

1 「限定運用」について

- 建設キャリアアップシステムについては、システムを安心かつ円滑に導入するため、本年4月からの「本運用」に先立ち、1月から3月までシステムを利用できる現場を限った「限定運用」を実施しています。
- 「限定運用」は、建設現場が様々な条件下に置かれ、インターネット環境や入場技能者数の違いによって多様なパターンが想定されることから、それらパターンに的確に対応するとともに、現場でのトラブルに対し本財団（運営主体）が丁寧かつ迅速に利用者をサポートできるよう、トラブルを検証してフィードバックすることを目的としています。

2 「限定運用」の参加元請事業者への説明会と現地視察について

- 昨年11月15日・12月13日、本年1月15日に「限定運用」に参加する元請事業者の現場管理者の皆様にご参集いただき、主として現場運用のノウハウ等を共有するための説明会が開催されました。
- 第3回説明会では、参加者が2班に分かれて、1月15日から限定運用を開始する次の2箇所の現場で、現場視察が行われました。
 - ・（仮称）麴町五丁目建設プロジェクト（大成建設（株））：東京都千代田区
 - ・ 赤坂5丁目プロジェクト（鹿島建設（株））：東京都港区
- 視察において、各事業者の現場管理者の皆様から、次のような事項について実地に即したご説明がありました。
 - ・ 就業履歴登録アプリ「建レコ」のパソコンやiPad・iPhoneへのインストールの方法
 - ・ カードリーダーの設置場所や設置方法の工夫
 - 現場事務所内の場合、動線の混雑しない入場ゲート、作業員休憩所、朝礼広場、詰所と入口を結ぶ通路等に設置するなど。
 - 現場事務所外の場合、雨に濡れないようガラスケースを用意する、盗難等の面でセキュリティ対策を施すなど。
 - ・ システムへログインしてから就業履歴登録開始までのクリックの進め方
 - ・ 入退場情報記録の有無の切り替えにより、入場時刻・退場時刻を区別して記録するケース、区別せずに就業履歴のみを記録するケースについて、それぞれ検証する方針。
- そして、建設キャリアアップカードを保有しておられる職長の方々が、実際にカードをカードリーダーにあて、パソコンの画面の表示や動作を確認しました。
「いよいよ現場運用が始まるのだ！」と、参加者の表情にはピリリとした緊張感が漂っていました。



＜実演の様子＞



「限定運用」が順次開始され、現場運用の検証が進んでいます。

1 「限定運用」について

- 建設キャリアアップシステムについては、本年4月からの「本運用」を円滑に進めるため、1月から3月までシステムを利用できる現場を限った「限定運用」を24現場で実施して、様々な現場運用における課題を検証しています。
- ここでは、2月14日に開始した(株)中筋組、2月18日に開始した大安建設(株)における動向についてご紹介いたします。
- 関係者の皆様のご支援・ご協力に心より感謝いたします。

2 (株)中筋組における取組について

- (株)中筋組は、島根県出雲市に本社のある地域ゼネコンです。
- 限定運用の現場は、「大田静間道路静間川橋下部第3工事」で、国土交通省松江国道事務所発注の道路工事です。施工場所が島根県大田市の市街地から離れているため、必要なインターネット環境に支障がないかという検証ポイントがありました。
- また、現場事務所と施工場所が離れていることから、技能者の利便性を考慮し、現場事務所ではパソコンを使い、施工場所では現場監督の方がiPadを持参する方法を選択して、それぞれに就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールして、双方の動作を確認しました。
- 建設キャリアアップカードをカードリーダーにかざし、問題なく就業履歴の蓄積ができました。
- 特に、iPadのほうは、施工場所に持ち込む際、落下防止、雨天の場合の対処などノウハウを蓄積していく必要性が確認されました。



3 大安建設(株)における取組について

- 大安建設(株)は、全建総連傘下の首都圏建設産業ユニオンに参加している工務店です。
- 限定運用の現場は、「草加マンションリフォーム工事」で、民間マンションの一室のリフォーム工事です。「建レコ」をインストールしたiPadを現場の棚の上に置き、動作を確認しました。
- 建設キャリアアップカードをカードリーダーにかざし、問題なく就業履歴の蓄積ができました。
- 小規模な住宅リフォーム工事の場合、複数現場を対象として機動的にカードリーダーをセットして運用していくことについて様々な課題が挙げられました。また、就業履歴の蓄積を行う前の段階で、現場・契約情報の登録や施工体制登録等を簡便な方法で行うことの重要性が確認されました。





「現場運用マニュアル(第1版)」を専用HPに公開しました。

1 いよいよ「本運用」が始まります。現場運用に向けたマニュアルをご覧ください！

- 建設キャリアアップシステムは、2019年4月からいよいよ「本運用」が始まります。
- 技能者の皆様が、カードリーダーに建設キャリアアップカードをかざして、就業履歴を蓄積できるようになるには、いろいろな準備が必要です。また、現場運用開始後も、現場での日々の管理が適切に行われることも重要です。
- 「現場運用マニュアル(第1版)」では、元請事業者及び下請事業者並びに技能者がみんなで前向きに建設キャリアアップシステムに参加し、技能者の処遇改善や担い手の確保につながるよう思いを含め、丁寧に解説しています。

2 専用HPにおける今後の情報充実について

- 今回公開した「現場運用マニュアル」はあくまでも「第1版」であり、今後、限定運用での検証の結果を反映させたり、利用者の皆様からのご提案やアドバイスを踏まえ、不断のブラッシュアップをしていく予定です。
- 小規模事業主や一人親方の皆様にご理解を深めていただけるよう「ここだけ対応すれば大丈夫！」という簡略版や、職長の皆様にわかりやすく「ここを理解しておきましょう！」というようなパンフレットも作成していく方針です。
- 今後とも、充実させたマニュアル、リーフレット、ガイダンス動画などの成果物を、順次、本財団の建設キャリアアップシステム専用HPに公開してまいりますので、是非ともご覧いただければ幸いです。

(参考) 現場運用マニュアル（第1版）の概要について

- すべては事業者登録と技能者登録からスタートします。
- そして、「第1章」は総論、「第2章」は登録した所属事業者と技能者の関連付け、「第3章」は組織体制に応じたIDづくり、「第4章」は元請事業者による開設現場に係る現場・契約情報の登録、「第5章」は現場における元請事業者と下請事業者の協力のもとでの施工体制と作業員名簿の登録、「第6章」は元請事業者によるカードリーダー等の準備、「第7章」は「建レコ」による就業履歴の蓄積とシステムへの直接入力の方法、「第8章」は情報閲覧と帳票出力、「第9章」はシステム利用料の支払いとなっています。

